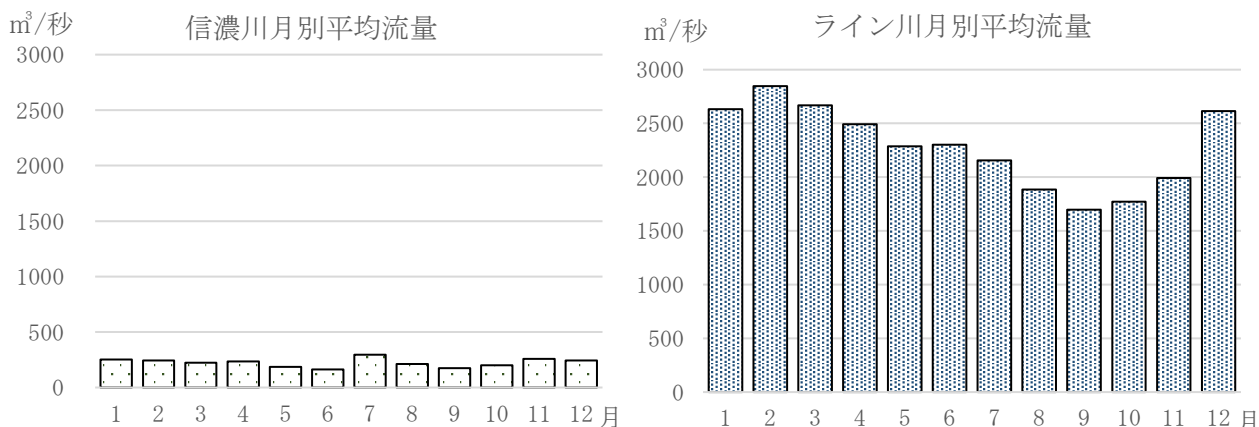


② 地理的分野 日本の地域的特色と地域区分 【河川・産業】	年 組 番
	名前

天野さんは、いくつかの視点から世界の国々の実態について調べ、日本の実態と比較し、我が国の地理的な特色について考えた。次の各問いに答えなさい。

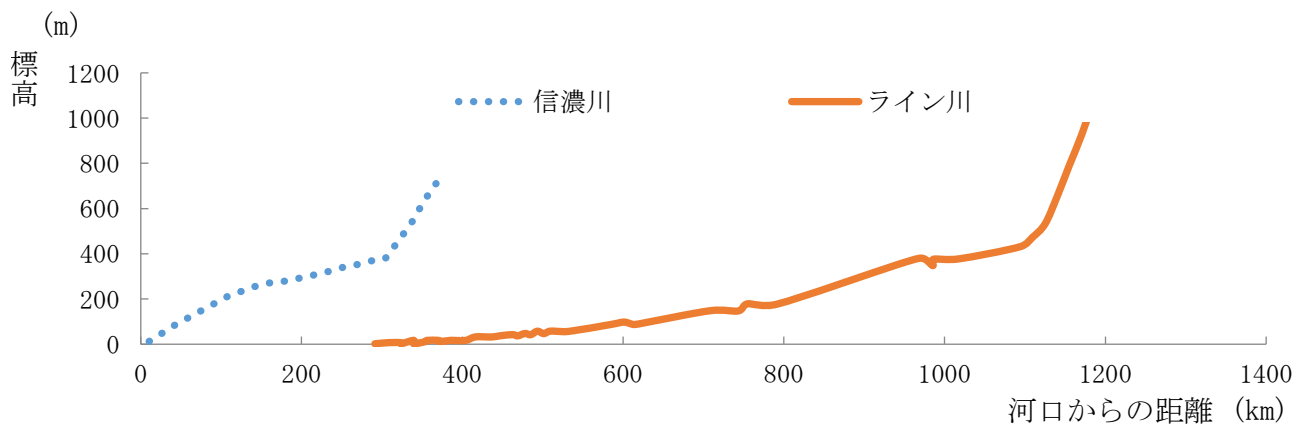
- (1) 日本の川の特徴をとらえるために、日本と世界の川を2つの視点から比較することにした。次のグラフ1の「月別平均流量」は、信濃川とライン川の月別の平均流量を、グラフ2の「信濃川とライン川の比較」は、2つの川の標高と河口からの距離の関係をそれぞれ示したものである。ライン川は、年間を通して貨物輸送を中心とした内陸水運に利用されている。グラフ1とグラフ2を参考に、**ライン川が水運に適している河川である理由**を簡潔に書きなさい。

グラフ1



(GRDC ウェブページ、国土交通省水管理・国土保全局水分水質データベースなどより作成)

グラフ2 信濃川とライン川の比較



(国土交通省ウェブページなどより作成)

(2) 産業の視点から日本の貿易の特色をとらえるために、日本と世界の国（地域）との貿易品や貿易額について調べることにした。次の各問いに答えなさい。

(i) 2019年のロシア、アメリカ、EU、アジアの4つの国や地域から日本への輸入品と輸入額について調べ、次のア～エの表にまとめた。ア～エに当てはまる国や地域の名前を、それぞれ書きなさい。

ア 輸入総額 374,130 億円

順位	輸入品	億円
1	衣類・同付属品	29,567
2	通信機	26,129
3	半導体等電子部品	21,611
4	電算機類（含周辺機器）	20,013
5	音響映像機器（含部品）	11,527

イ 輸入総額 97,222 億円

順位	輸入品	億円
1	医薬品	16,756
2	自動車	11,200
3	有機化合物	4,787
4	科学光学機器	4,166
5	原動機	3,299

ウ 輸入総額 86,402 億円

順位	輸入品	億円
1	原動機	5,818
2	航空機類	4,992
3	医薬品	4,847
4	科学光学機器	4,597
5	肉類	3,977

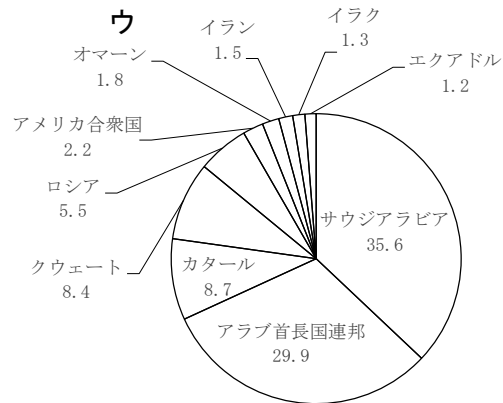
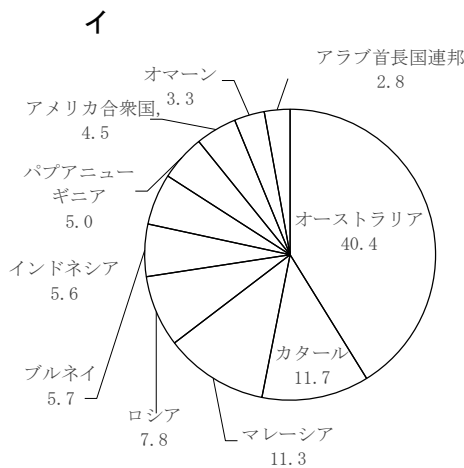
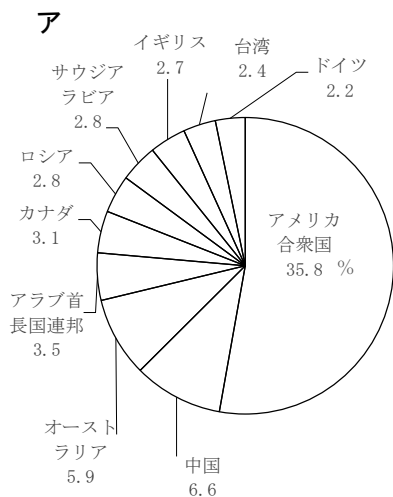
エ 輸入総額 15,606 億円

順位	輸入品	億円
1	原油	4,355
2	液化天然ガス	3,375
3	石炭	2,502
4	非鉄金属	2,156
5	魚介類	1,211

(財務省「貿易統計」より作成)

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

(ii) 次のア～ウのグラフは、いずれも2019年の日本の自動車の輸出相手国、原油の輸入相手国、液化天然ガスの輸入相手国についてまとめたものである。液化天然ガスの輸入相手国についてまとめたものはどれか、次のア～ウから1つ選び、記号で書きなさい。また、選んだ理由を簡潔に書きなさい。



(財務省「貿易統計」より作成)

記号	
----	--

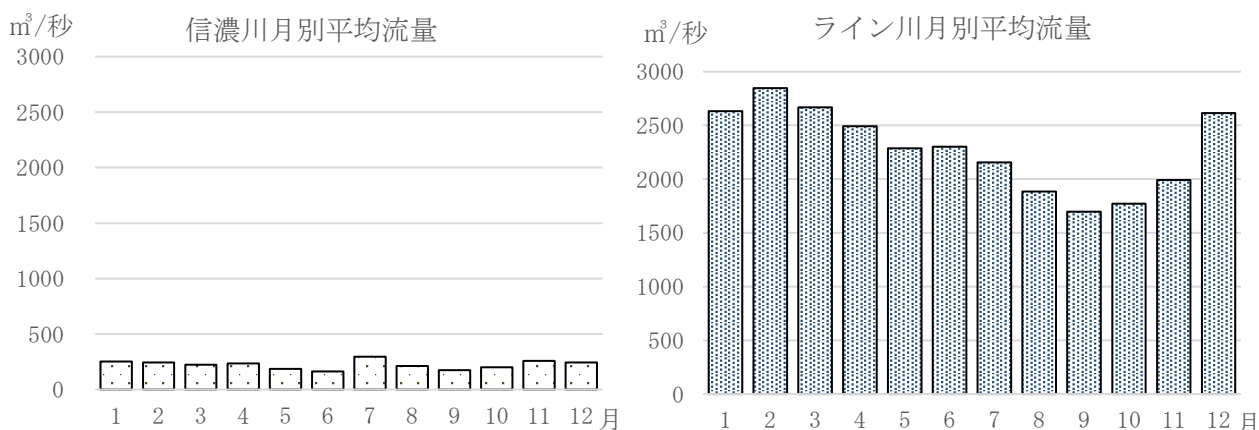
選んだ理由	
-------	--

② 地理的分野 日本の地域的特色と地域区分 【河川・産業】	年 組 番
	名前

天野さんは、いくつかの視点から世界の国々の実態について調べ、日本の実態と比較し、我が国の地理的な特色について考えた。次の各問いに答えなさい。

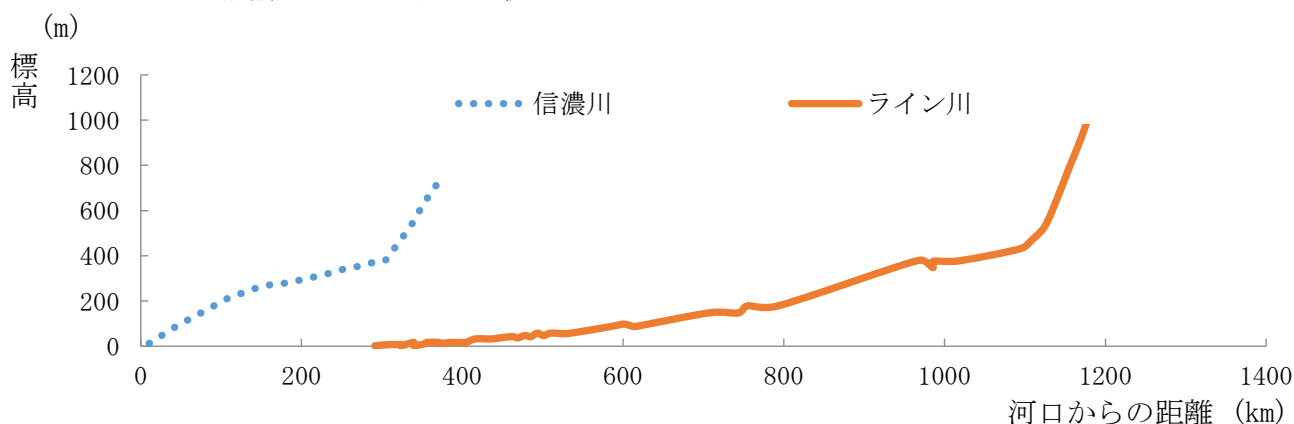
- (1) 日本の川の特徴をとらえるために、日本と世界の川を2つの視点から比較することにした。次のグラフ1の「月別平均流量」は、信濃川とライン川の月別の平均流量を、グラフ2の「信濃川とライン川の比較」は、2つの川の標高と河口からの距離の関係をそれぞれ示したものである。ライン川は、年間を通して貨物輸送を中心とした内陸水運に利用されている。グラフ1とグラフ2を参考に、**ライン川が水運に適している河川である理由**を簡潔に書きなさい。

グラフ1



(GRDC ウェブページ、国土交通省水管理・国土保全局水分水質データベースなどより作成)

グラフ2 信濃川とライン川の比較



(国土交通省ウェブページなどより作成)

例) グラフ1から読み取れるように、年間を通じて流量が多く、
 グラフ2から読み取れるように、川の傾斜が緩やかである部分が長いため。

(2) 産業の視点から日本の貿易の特色をとらえるために、日本と世界の国（地域）との貿易品や貿易額について調べることにした。次の各問いに答えなさい。

(i) 2019年のロシア、アメリカ、EU、アジアの4つの国や地域から日本への輸入品と輸入額について調べ、次のア～エの表にまとめた。ア～エに当てはまる国や地域の名前を、それぞれ書きなさい。

ア 輸入総額 374,130 億円

順位	輸入品	億円
1	衣類・同付属品	29,567
2	通信機	26,129
3	半導体等電子部品	21,611
4	電算機類（含周辺機器）	20,013
5	音響映像機器（含部品）	11,527

イ 輸入総額 97,222 億円

順位	輸入品	億円
1	医薬品	16,756
2	自動車	11,200
3	有機化合物	4,787
4	科学光学機器	4,166
5	原動機	3,299

ウ 輸入総額 86,402 億円

順位	輸入品	億円
1	原動機	5,818
2	航空機類	4,992
3	医薬品	4,847
4	科学光学機器	4,597
5	肉類	3,977

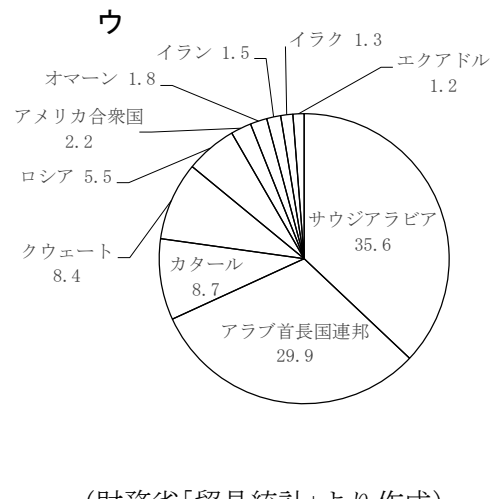
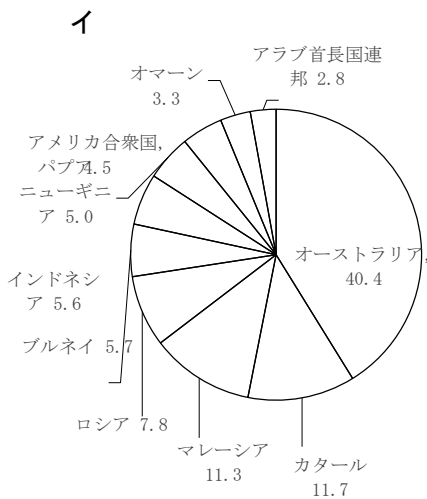
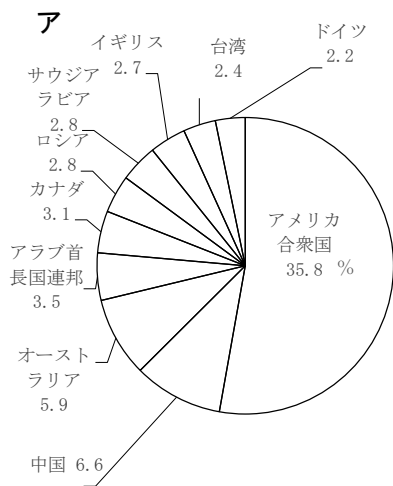
エ 輸入総額 15,606 億円

順位	輸入品	億円
1	原油	4,355
2	液化天然ガス	3,375
3	石炭	2,502
4	非鉄金属	2,156
5	魚介類	1,211

(財務省「貿易統計」より作成)

ア	アジア	イ	EU	ウ	アメリカ	エ	ロシア
---	-----	---	----	---	------	---	-----

(ii) 次のア～ウのグラフは、いずれも2019年の日本の自動車の輸出相手国、原油の輸入相手国、液化天然ガスの輸入相手国についてまとめたものである。液化天然ガスの輸入相手国についてまとめたものはどれか、次のア～ウから1つ選び、記号で書きなさい。また、選んだ理由を簡潔に書きなさい。



(財務省「貿易統計」より作成)

記号	イ	<p>選んだ理由</p> <p>例) アのグラフは、アメリカが最も大きい割合を占めていることから、自動車の輸出相手国だと推測できる。ウのグラフは西アジアの国々が多いことから、原油の輸入相手国だと推測できる。以上のことに加え、オーストラリアは資源を多く輸出しているという事実を踏まえると、イのグラフが液化天然ガスの輸入相手国だと考えられる。</p> <p>※産出国等の暗記ではなく、3つのグラフを比較して、答えを導き出している理由が望ましい。</p>
----	---	---

Check! 【自分の言葉で説明する】
 獲得した知識を使って、「自分の言葉で説明する」習慣をつけておきましょう。